

会報

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F

広島県高等学校
PTA連合会

電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351

HP hiroshima-koup.sakura.ne.jp

★ 広島県高P連

NO. 163

**第六十八回全国高等学校PTA
連合会大会 佐賀大会**
とき 平成三十年八月二十日
〜二十一日
ところ 佐賀県総合体育館
大競技場外

酷暑の厳しい太陽が照りつける中、佐賀県総合体育館大競技場を主会場に四副会場に分かれ、第六十八回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会が八月二十日(月)、二十一日(火)の二日間 にわたり開催されました。



佐賀県は幕末から明治時代を背景に政治・産業・芸術の分野で先進的な活躍を展開された佐野常民氏を代表に数多くの賢人を輩出されている土地柄でもあります。

今大会のメインテーマ「広めよう高めよう 慈しむ心」サブテーマ「君たちがつくる希望の明日を」現在あらゆる分野で人類はめざましい進歩を成し遂げています。そこに人間・自然環境・動植物をはじめ生きとし生けるもの

への慈しむ心があればこそ、人間の英知や技術を超えた更なる想像力が発揮できるものと信じられています。

この混迷の時代を生き抜く子供たちが、学校・家庭・地域・社会において慈しむ心を忘れず、私たちPTAがその支えとなり、希望の明日をつくっていくための大いなる一歩を踏み出す共有時間を過ごし、この大会をとおして学び語り合い、絆を深めて頂きたいと言います。

初日は五会場で、それぞれオープニングアトラクションとして、佐賀学園高等学校吹奏楽部、瀧谷高等学校吹奏楽部、佐賀県立唐津東・唐津西・唐津工業・唐津商業高等学校の四校合同吹奏楽団、佐賀県立三養基高等学校、佐賀県立鹿島高等学校、佐賀清和高等学校吹奏楽部による演奏で幕を開け、佐賀大会開会式では佐賀大会実行委員長西岡豊委員長の挨拶に始まり、一般社団法人全国高等学校PTA連合会牧田和樹会長の挨拶、文部科学大臣林芳正様、復興大臣吉野正芳様、佐賀県知事山口祥義様、佐賀市長秀島敏行様、唐津市長峰達郎様、鳥栖市長橋本康志様、嬉野市長村上大祐様からそれぞれ御祝辞を頂きました。

その後、表彰式に移り、平成三十年度表彰者の発表となり、平成三十年度優良PTA文部科学大臣表彰では、広島県立東城高等学校PTA、平成三十年度PTA活動振興功労者表彰では、



佐賀県総合体育館大競技場 (メイン会場)

広島県高等学校PTA連合会前会長北村正次様、広島県高等学校PTA連合会元会長吉岡久美子様、第六十八回全国大会会長表彰個人では広島県立府中高等学校元PTA会長根来寿雄様、広島県立三原高等学校前PTA会長古谷博史様、広島県立吉田高等学校前PTA会長日浦真由美様、第六十八回全国大会会長表彰団体では広島県立宮島工業高等学校の皆様方が表彰されました。

開会式後の基調講演では、「レモンさんの vitamintok!〜慈しみの愛言葉! We are シンセキ!〜」というテーマでラジオDJレモンさんと山本シュウ氏による講演がありました。

レモンさんは今の時代は、「第二の明治維新」真つ只中!だから、叩き合い、

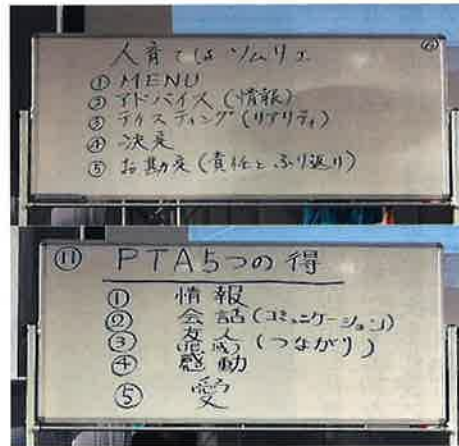
迷い、孤独が増えています。



レモンさんの合言葉「We are シンセキ！」その思いはズバリ！「あなたの命は、あなただけのものじゃない！」ということ！遠慮なく「助けて！」「と叫んでいい」「権利」、それが「人権！」「あなたは、あなたのままでいい！」「いい！以上に、あなたのままでいい！」「いい！と言えり時代なんです！だから、これからの流れの方向や、具体的に明日からできそうな行動、本当のコミュニケーションの形、捉え方、練習の仕方など、仲間同士、シンセキ同士のように、楽しくハッピーな時間を共有できるようにするためにどうすべきなのかを考えさせていただける講演でした。

昼食では佐賀県の食文化を感じる様々な特産品が彩りよく詰められたお弁当を会場にておいしくいただきました。昼食時のアトラクションとして佐賀県立小城高等学校三年生の泉るなさんが熊本地震発生後、被災地に足を運び、震災に対して思った事や感じた事を歌詞にしてうたうことで自分なりの復興支援活動をしている。自ら作詞作曲を

し、「いま過ごしている毎日は当たり前じゃない、いつどこで何が起こるか分からない今、大切なことはちゃんとことばにして伝えなければいけない」という思いのこもった曲の演奏を聴かせていただきました。



また、佐賀県出身のはなわ氏の演奏も思いのこもった演奏をして頂き、昼食時間があつと言う間に過ぎてしまいました。

午後からは五カ所の会場で特別分科会を含む六分科会に分かれ発表が行われました。

第三分科会「生徒指導とPTA」は主導的に考え行動する生徒の育成、現代の大きく変動する社会の中で、子どもたちの「生きる力」を育む教育が求められています。子どもたちが社会の中で自立し、他者と連携しながら主体的に課題を解決する力を身につける

るようになるために、適切な助言や援助をどのように行っていくかが課題となります。学校や家庭、地域社会において、生命を大切に心、他人を思いやる心、規範意識などを育み、自己選択、自己決定をする力を身につけられるようにするために、PTAとしてどのようにかわっていくかについて、北海道立旭川商業高等学校父母と先生の会、東京都立秋留台高等学校PTA、和歌山県立海南高等学校大成校舎大成会、徳島県立城ノ内中学校・高等学校PTAの事例発表を聞き、佐賀大学教育学部教授松下一世氏と佐賀県立香楠中学・鳥栖高等学校校長真子哲氏から助言を頂き協議を深めました。

(調査広報委員長 石橋良修)

大会第二日目は、初日と同様に五会場それぞれ以下のようなアトラクションで幕を開けました。

佐賀県立伊万里農林高等学校の太鼓部至誠龍神の演舞(農林創作太鼓)、佐賀女子高等学校のハンドベル部と合唱部、佐藤和哉氏の篠笛、佐賀県立牛津高等学校のジャンベ部、佐賀県立鳥栖商業高等学校のダンス部、佐賀県立嬉野高等学校の和太鼓部、ソングリーディング部、以上です。

私たちは佐賀市文化会館だったので、その中でもハンドベル部と合唱部が別々の会場だったため、大急ぎで移動してどうにか一部だけでも両方を



鑑賞することができました。どちらもとても素晴らしい演奏でした。

西日本豪雨災害義捐金について (御礼)

平素より、本連合会の活動に対しまして御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

このたびの西日本豪雨災害義援金の募金活動について、会員の皆様方からの多数の善意をお寄せいただき誠にありがとうございました。広島県高等学校PTA連合会に寄せられました義援金総額は次のとおりです。

3,269,267円

被災児童生徒に学校を通じてお贈りいたしました。御協力いただき厚く御礼申し上げます。

(県高P連事務局)

会場の都合とはいえ、他の高校生の皆さんのアトラクションを見ることのできなかつたことが残念でした。続いて、やはり五会場ごとに記念講演が行われました。

佐賀県総合体育館大競技場では、講師に佐賀大学理工学部卒業の株式会社タニタ代表取締役社長谷田千里氏を迎え「日本を健康にするタニタの挑戦」という演題で講演が行われました。

「健康をはかる」計測機器メーカーから、レシビ本のヒットで話題となった社員食堂のメニューを提供する「タニタ食堂」や「健康をつくる」様々なサービス等、誰もが関心のある健康についての内容でした。

佐賀市文化会館大ホールでは、講師に株式会社佐賀新聞社専務取締役・論説委員長富吉賢太郎氏を迎えて、「私が出会った感心な人たち」という演題で講演が行われました。

佐賀県鳥栖市で生まれたソフトバンクの孫正義社長の少年時代から現在に至るエピソード、幼き頃の佐賀での原点についてのコラム等についての講演でした。

唐津市文化体育館では、講師に唐津商工会議所会頭宮島清一氏（宮島醤油株式会社代表取締役）を迎えて、「高橋是清と耐恒寮の少年たち」明治初期唐津における英語教育」という演題で講演が行われました。

明治三年、高橋是清は唐津藩が新設

した洋学校「耐恒寮」の教師として招かれ、唐津の若者に英語を教えました。このクラスからは、辰野金吾外、明治日本の屋台骨を支える偉才たちが育ちました。当時高橋是清はどんな教育をしたのかを探ろうという内容でした。

鳥栖市民文化会館では、講師に一九九二年バルセロナオリンピック柔道男子七十一kg級で金メダリストに輝いた古賀稔彦氏を迎えて「夢の実現」挑戦することの大切さ」という演題で講演が行われました。

指導者としても活躍されており、夢や新たに挑戦していく事の大切さや魅力についてお話ししていただきました。

嬉野市体育館では、講師に俳優・お笑い芸人・プロボクサー・画家・ヨギ一と五つの顔をもつ、片岡鶴太郎氏を迎えて、「流れのままに」という演題で講演していただきました。

どの講演もとても興味深いもので、可能ならば全部参加してみたいと思うような内容でした。

続いて主会場の佐賀県総合体育館大競技場で初日に行われた各分科会報告がありました。各副会場には映像配信が行われました。

自分が参加できなかった他会場の分科会の報告も興味深い内容で、参加してみたかったものが多くありました。

閉会式では、佐賀大会実行委員会の山本雅之副実行委員長から、以下のとおり大会宣言が採択されました。

一 子どもたちが、高い志と理想を持って、困難に立ち向かい乗り越えていくための力である「生きる力」を育むために、知・徳・体のバランスの取れた人材育成の支援に努める。

一 国際的視野に立ち、社会経済の進展に創意を持って対応し、文化の創造や産業の振興など社会や地域の発展に貢献できる人材育成の支援に努める。

一 社会環境の変化に主体的に向き合い、現状を克服して新たな時代を創り、更に発展させていくことのできる心身ともにたくましい人材育成の支援に努める。

一 子どもたちの豊かな成長や幸福な未来を実現するため、学校、保護者、地域社会がそれぞれの役割を果たすとともに、連携協力しながら魅力あるPTA活動の推進に努める。

そして、佐賀大会実行委員会の西岡豊実行委員長から返還された全国高P連旗が、次期開催地の京都府立高等学校PTA連合会中川ひろみ会長、京都市立高等学校PTA連絡協議会濱本康夫会長に授与されました。

続けて次期開催地挨拶として、第六十九回京都会の奥野貴史実行委員長から挨拶とPRがありました。



二〇一九年のメインテーマは「Kyoから！未来を拓く」受け継ぎ、創る新たなストーリー」となっています。

「Kyoから」には「京都の地から」、「大会の今日から」、「共に協力して」、「（家庭）教育から」などの様々な思いがこめられているということです。

本当に今から楽しみです。最後に、西岡豊実行委員長の閉会の挨拶、國司稔生副実行委員長の閉会の辞で閉会となりました。

今回の佐賀大会は、これまでの大会とは異なり、開会行事等については、メイン会場からそれぞれの分科会会場に映像を配信しながら開催する会場分散型の大会でした。

そしてどの会場の参加者も満足できるように、高校生のアトラクションや記

～PTA功労表彰の御紹介～

第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会では、永きにわたりPTA活動に御尽力いただきました次の皆様が御受賞されました。

平成30年度優良PTA文部科学大臣表彰

広島県立東城高等学校PTA

平成30年度PTA活動振功労者表彰

吉岡久美子 広島県高等学校PTA連合会元会長
北村 正次 広島県高等学校PTA連合会前会長

平成30年度全国高等学校PTA連合会会長表彰 個人

根来 寿雄 広島県高等学校PTA連合会前副会長
(広島県立府中高等学校元PTA会長)
古谷 博史 広島県立三原高等学校前PTA会長
日浦真由美 広島県立吉田高等学校前PTA会長

平成30年度全国高等学校PTA連合会会長表彰 団体

広島県立宮島工業高等学校PTA

第68回 役員等表彰者

北村 正次 広島県高等学校PTA連合会前会長

御受賞おめでとうございます。受賞された皆様に感謝申し上げますとともに心よりお祝い申し上げます。(県高P連事務局)

念講演については、会場ごとを実施されました。
本当に準備段階から大変だったであろう、多くの会員の皆さんの御苦勞に感謝しながら会場を後にしました。
佐賀の街中には、明治維新一五〇年を迎えて、佐賀ゆかりの二十五人の偉

人たちの等身大モニュメントがあふれていました。
さまざまな偉業を成し遂げた原点は、やはり教育が大切だとあらためて思いながら、この大会に参加できたことにありがたく感謝致しました。
(調査広報委員 青木 光)

広島県高等学校PTA連合会

広島県大会

とき 平成三十年十月二十一日(日)
ところ 上野学園ホール

平成三十年度広島県高等学校PTA連合会広島県大会が、平成三十年十月二十一日(日)十二時から、広島市の上野学園ホールにおいて、「前進」をテーマに積極的に生きる」をテーマに開催されました。



開会に先立ち、ファンファーレが鳴って幕が上がリ、オープニングアトラクションが行われました。

広島市立舟入高等学校の箏曲部の演奏に合わせて、広島県立広島皆実高等学校書道部による書道パフォーマンスが披露されました。

ステージ前方で琴の演奏があり、後方で書道パフォーマンスが行われましたが、書いているところは見えにくいので、ステージ横のスクリーンに書の様子が映し出されていました。

箏の雅な演奏の中、力強く大きな筆

を走らせる姿が印象的でした。最後に書き上がったものを広げると、大会テーマである「前進」とサブテーマである「ここに元気に積極的に生きる」の文字が書かれていました。
一回目のアトラクション終了後、司会の案内で男女二人のインタビュアーが登場、アトラクションを披露した高校生に面白おかしくインタビュースし、場を盛り上げました。



広島市立舟入高校箏曲部&広島県立広島皆実高校書道部

この二人はその後の幕間にも登場、出演者にインタビュースして、会場を沸かせていました。

開会式では、最初に大会副実行委員長の前田尚人さんが開会宣言を行い、続いて国歌斉唱、大会副実行委員長森

本礼児さんの歓迎挨拶、広島県高等学校PTA連合会会長伊福聡さんの主催者挨拶と続き、三名の来賓祝辞、来賓紹介があつて開会式を終了しました。

開会式の後、若干の休憩があり、二回目のアトラクションに移りました。今回は、広島市立広島工業高等学校の機械科と放送部の生徒さんによる「銅板折り鶴」の紹介でした。

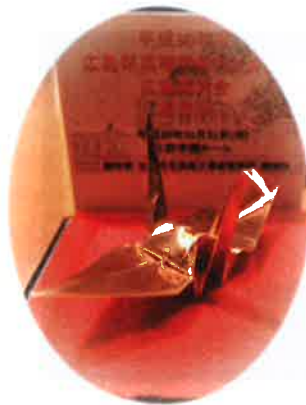


広島市立広島工業高校 機械科&放送部

銅板折り鶴を作っている皆さんは「平和の板金術師」と呼ばれているとのことで、この日はその製作工程を六つの工程に分け、放送部の生徒さんの進行で、一工程ずつ紹介されました。

硬い銅板を紙と同じように折るのはなかなか難しいようで、様々な道具を使って作られていく様子や、気をつけ

ているところなどをインタビューしながら紹介されました。このアトラクション終了後、受付で配られた配布物の中に金色の折り紙が入っていた方に、銅板折り鶴が贈られました。



銅板折鶴

なお、配布物の中には折り紙が入っており、受付の際、各自折鶴を折って回収箱に入れるようにとお願いがあり、金色の折り紙の場合は手元を持っておくようにと言われていました。それが銅板折鶴の当たり券だったというわけです。

このあと若干の休憩があり、事例発表に移りました。

事例発表は、広島県立高陽高等学校が行いました。

テーマは「『恵下の勾玉』に守られて、新しき時代を創る人材の輩出をめざし、地域と共に進めるPTA活動」で、写真を交えて活動内容が紹介されました。

冒頭、野球で有名な学校と間違われることがあるが、本校には野球部がないので間違わないでと学校を紹介。そ

の理由が、学校建設当時、野球部専用グラウンドの予定地から遺跡が見つかったためとのことで、その遺跡が「恵下山遺跡」、そこから勾玉が出土したので、このたびのテーマが「『恵下の勾玉』に守られて」となっているとのこと。

続いて人材の育成についての活動が紹介され、姉妹校であるアメリカハワイ州立カラニカニ高等学校と、相互に短期留学を行っていることなどが紹介されました。



広島県立高陽高校 事例発表

そのあと、地域の人々とのスポーツ交流やその他のPTA活動が紹介され、発表が終わりしました。

次に三回目のアトラクションに移り、広島市立基町高等学校器楽部の演奏が披露されました。

演奏者の中の二人が進行役を務め、ステージ前方で曲を紹介した後、すぐに自席へ戻って楽器を演奏していま

た。演奏曲は三曲でそれぞれ参加者を魅了していました。曲の中には途中ソロ演奏が入るものもあり、演奏者は他の奏者の間をすり抜け、前方で演奏、すぐまた自席で演奏するという離れ業をやっていました。

最後の曲は軽快なりズムで、参加者も一緒になって手拍子を打ち、楽しんでいました。



広島市立基町高校 器楽部

このあと緞帳が下ろされ、基町高校器楽部の生徒さんへのインタビューがあり、続いて広島市立広島商業高等学校と広島市立大手町商業高等学校による物品販売が紹介されましたが、大手町商業高校の洋菓子には既に売り切れたとのことで、人気の高さを物語っていました。



広島市立広島商業高校 & 広島市立大手町商業高校

にせんをかいてください」と課題を与えられ、その回答にいろいろなパターンがあり、講師自身が思ったものと違いがあることを示され、コミュニケーションの大切さ、いろいろな価値観とふれあうことで視野が広がることを話されました。

また、「挨拶」ということも、その文字の意味から、「歩み寄り」と「返す」ことであると、お互いが歩み寄ることの大切さを話されました。

次に参加者を隣同士のペアに組み、それぞれ語り役聞き役で話をさせ、続いて役割を変えて語り合わせ、「聴く」ことについて、相手の話をよく聴き、分かろうとすることの大切さを語られました。また「話す」ことは「放す」ことであり、脳の流れを良くすることであるとも話されました。

しばらく休憩の後いよいよ講演に移りました。
講師は「こころ元気配達人」「こころ元気研究所所長」の鎌田敏さんで、演題は「こころ元気な大人が、子どもを未来を築く！」でした。
講師は最初、参加者に「まるのうえ



子供たちの心の扉を開くこと、参加出来る空気作りなど、子供たちの未来へ向けて、大人が取り組むべきところを語られました。講演の最後に、主催者から講師に対し謝辞が述べられ、花束が贈呈されました。

次に閉会行事に移り、広島地区高等学校PTA連合会会長の岡崎光治さんが閉会の挨拶を行い、続いて次回担当の広島東地区PTAの皆さんが横断幕を持って登壇されました。今回のテーマである「一緒懸命」を紹介、参加を

呼びかけました。

そして最後に広島県大会副実行委員長の平野龍治さんが閉会宣言をし、揃いのTシャツを着たスタッフの皆さんがステージ上で手を振る中、緞帳が下がり全日程を終了しました。

今回の大会を開催、運営してくださった広島地区高等学校PTA連合会の皆さん、そして御尽力くださった皆さんに、心から感謝とお礼を申し上げます。
(神辺高等学校PTA理事 宮本保雄)

「全県一斉あいさつ運動」ポスター及び「通学・交通マナー」標語入賞作品の御紹介

広島県高等学校PTA連合会の五委員会(総務・研修・調査広報・健全育成・進路対策)のひとつ、健全育成委員会では、事業の一環として、平成二十三年度より、「全県一斉あいさつ運動」を始め、今年度八回目を迎えました。

毎年十一月一日を「全県一斉あいさつ運動」実施日とし、本年度も、各校各駅などで実施いただきました。

「あいさつ運動」のための県高P連のぼり旗を掲げ、朝早くから寒い中実施いただき、各校のPTAの皆様、御協力をありがとうございました。
また、「あいさつ運動」を広く周知い

た、たくためのポスター募集を、本年度も行い、健全育成委員会で厳正なる審査会を実施しました。

応募総数四十五点の作品の中から、広島県立熊野高等学校末森琉花さんの作品が優秀賞に選ばれ、ポスターとなりました。

ポスターは、十一月一日の「全県一斉あいさつ運動」の前に各校へ配布し、提示をお願いいたしました。
たくさんの御応募ありがとうございました。

受賞された生徒さんは次のとおりです。

〔優秀賞〕
広島県立熊野高等学校 末森琉花



〔佳作〕
広島県立宮島工業高等学校 小田紗代
広島県立宮島工業高等学校 梅田初音
広島県立熊野高等学校 山野恒徳
〔会長特別賞〕
広島県立黒瀬特別支援学校 岡原向日葵

また、昨年度より健全育成委員会で協議・検討を重ねておりました、「通学・交通マナー」に関わる標語募集を、新規事業の一環として今年度より行うことになり、募集いたしました。

募集の通知を各校へお送りした後、豪雨災害が発生し、このような事態に標語が集まるかどうか、懸念しておりましたが、応募学校数十二校から四百九十六名の応募をいただきました。

ありがとうございます。
最優秀賞の作品はポスターとして、各校へ配布させていただきました。
受賞された生徒さんは次のとおりです。

〔最優秀賞〕
広島県立西城紫水高等学校 河野紗月

平成30年度「通学・交通マナー」標語



広島県高等学校PTA連合会

〔優秀賞〕
広島県立福山商業高等学校 武田鈴菜
〔広島地区連合会賞〕
広島市立広島工業高等学校 吉田晴斗
〔広島東地区連合会賞〕
広島県立安芸南高等学校 高 悠晴
〔広島西地区連合会賞〕
広島県立五日市高等学校 大知眞子
〔広島北地区連合会賞〕
広島県立可部高等学校 森脇大喜
〔呉地区連合会賞〕
広島県立呉商業高等学校 山田詩織
〔福山地区連合会賞〕
広島県立福山商業高等学校 掛谷のどか
〔三次地区連合会賞〕
広島県立庄原格致高等学校 上田偉大

次年度も引き続き、あいさつ運動ポスターと通学・交通マナー標語の募集を行う予定です。たくさんの方の御応募をお待ちしております。
(県高P連事務局)

2019年 県高P連行事予定

- 1月19日(土) 平成30年度第2回単P会長研修会(広島YMCA 国際文化ホール外)
- 3月中旬 平成30年度第2回常任委員会(広島YMCA 本館会議室)
- 6月11日(火) 県高P連定例総会(広島県民文化センター)
- 6月下旬 第1回常任委員会(広島YMCA 本館会議室)
- 7月12日(金) 第61回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会鳥取大会
(鳥取市 とりぎん文化会館梨花ホール)
- 7月27日(土) 第1回単P会長研修会(広島YMCA 多目的ホール外)
- 8月10日(土) 広島県高等学校PTA連合会進学説明会(広島県民文化センター)
- 8月22日(木)~23日(金) 第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会
(京都市 京都市勧業館みやこめっせ外)
- 10月27日(日) 広島県大会(主管 広島東地区高P連) (安芸郡坂町 サンスターホール)
- 11月1日(金) 全県一斉あいさつ運動

☆2020年 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会広島大会開催のお知らせ☆

毎年7月に開催されております、中国・四国地区高等学校PTA連合会大会が、広島で開催されます！開催日・開催場所は次のとおりです。

〔開催日〕2020年7月10日(金)・〔会場〕広島市文化交流会館

中四国各県より御参加いただく多くのPTA会員の皆様に、広島県高等学校PTA最大限のおもてなしをし、広島にお越しいただいてよかったですと思っただけのような大会を目指したいと思っております。

広島県のPTAの皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。(県高P連事務局)

広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、団体総合生活保険のペットネームです。〉

1. 団体割引25%適用・損害率による割引20%適用（天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。）
 2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償
 3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償
○携行品（学校管理下動産補償特約）の補償は学校管理下中のみです。
○夜間・休日も24時間事故の受付をしております。
 4. 「メディカルアシスト」で24時間・365日無料各種医療に関するご送迎に応じます。
○また、夜間の緊急医療機関や最寄りの医療機関をご案内いたします。
- ※詳細はパンフレットをご確認下さい。
※補償期間(保険期間)は1年となります。(平成30年4月25日午後4時より平成31年4月25日午後4時まで1年間)
※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容		W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ
賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	国内	1事故 無制限	1事故 無制限	1事故 1億円限度	1事故 1億円限度	1事故 5,000万円限度
	海外	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度	5,000万円限度
国内示談交渉サービス付き						
病気入院 (1日あたり)		5,000円	5,000円	4,000円	—	—
傷	死亡・後遺障害	348万円	364万円	322万円	267万円	227万円
	入院 (1日あたり)	5,000円	5,000円	4,000円	3,800円	2,900円
	手術	上記入院日額の10倍(入院中の手術)、5倍(入院中以外の手術)				
害	通院 (1日あたり)	3,400円	3,400円	2,400円	2,400円	1,300円
	地震・噴火・津波	○	—	—	—	—
	熱中症	○	○	○	○	○
細菌性食中毒	○	○	○	○	○	
携行品(学校管理下動産補償)	1年で10万円限度(自己負担額1事故3,000円)					
被害事故補償	1事故 1,000万円限度					
育英費用	100万円					
地震・噴火・津波	○	—	—	—	—	—
制度維持費	350円					
掛金 (1年分)		17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円

○携行品の損害保険金は1年間で10万円が限度(注)となります。

(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。

※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

※病気入院(入院医療保険金)について：新規ご加入時の支払責任の開始時より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規ご加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 (株)東海日動パートナーズ 中国四国 TEL:0120-018-217 平成30年3月作成(17-T12625)

〈引受幹事保険会社〉



TOKIOMARINE
NICHIDO

東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

〈共同引受保険会社〉



AIG 損保

AIG損害保険株式会社 広島営業支店
広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル
TEL 082-535-6010

この保険契約は、上記の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独個別に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険(幹事保険会社) AIG損害保険株式会社